

製品名: MRP-S22 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14147**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、サル、ウシ、ハムスター、牛
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	41kDa

抗原情報

遺伝子名	MRPS22
別名	MRPS22; C3orf5; RPMS22; GK002; 28S ribosomal protein S22; mitochondrial; MRP-S22; S22mt
遺伝子 ID	56945.0
SwissProt ID	P82650
免疫原	抗血清はヒト MRPS22 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

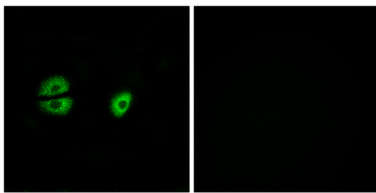
背景

哺乳類のミトコンドリアリボソームタンパク質は核遺伝子によってコードされており、ミトコンドリア内でのタンパク質合成を助け

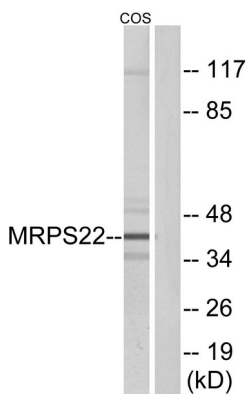
る。ミトコンドリアリボソーム（ミトリボソーム）は、小さな 28S サブユニットと大きな 39S サブユニットからなる。原核生物のリボソームと比較して、ミトコンドリアリボソームのタンパク質対 rRNA 構成は 75%と推定され、この比率は原核生物のリボソームで逆転している。哺乳類のミトリボソームと原核生物のリボソームのもう 1 つの違いは、原核生物のリボソームには 5S rRNA が含まれることである。種によって、ミトリボソームを構成するタンパク質の配列は大きく異なり、時には生化学的特性も異なるため、配列相同性による容易な認識を妨げている。この遺伝子は、原核生物および真菌のミトコンドリアリボソームには対応するタンパク質がないと思われる 28S サブユニットタンパク質をコードしている。この遺伝子はフォークヘッドボックス L2 遺伝子の末端小胞側に位置し、反対方向に転写される。偽遺伝子疾患：MRPS22 の欠陥は、複合型酸化リン酸化欠損症 5 型 (COXPD5) [MIM:611719]の原因です。COXPD5 は出生前ミトコンドリア疾患です。患者は浮腫、心筋症、尿細管症、筋緊張低下を呈します。サブユニット：ミトコンドリアリボソーム小サブユニット (28S) の構成要素で、12S rRNA と約 30 種類の異なるタンパク質で構成されています。、

研究分野

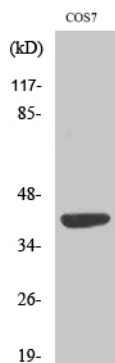
画像データ



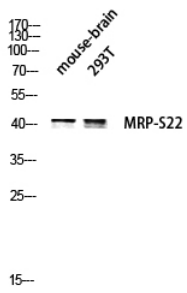
MRPS22 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



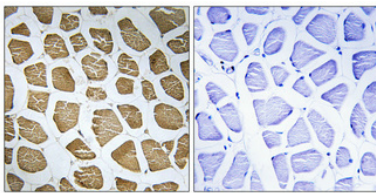
MRPS22 抗体を用いた COS 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロックされている。



MRP-S22 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



MRP-S22 抗体を使用したマウス脳 293T 溶解のウエスタンブロット分析。



パラフィン包埋ヒト骨格筋の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高温高圧トリス EDTA (pH8.0) を用いた。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。